

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁JOYtime

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	2	人数が多いと感じたら2階のお部屋、公園、散歩と活動人数を分けている。	引き続き、人数が多いと感じたら2階のお部屋、公園、散歩と活動人数を分ける。
	2	職員の配置数は適切である	4	6		国の基準は満たしているが日によって少なく、危険に感じる日もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	8		手すりはあるがスロープや段差が無い施設ではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	6		毎月のケースカンファレンスで意見交換が出来る機会が増えたためその機会を有効的に使っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	4		改善出来ている部分、出来ていない部分が毎年同じ。分け隔てなく改善できるように振り返りを行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3		HPでは公開している。広報でも業務連絡として公開したほうがいいのではないかな？
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		知識を増やすための研修、命を守るための研修など、もっと様々な研修を企画し、実行したい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	レク係を決め、立案	レク係のみの立案になりがちでミーティング時に指導員たちに意見を聞くようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	レク係を決め、立案	レク係のみの立案になりがちでミーティング時に指導員たちに意見を聞くようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	3	長期休みの季節により活動を変えている。	季節の行事、活動、レクを決め、活動にちなんだ支援(水遊び時→お着換え練習など)を取り入れているようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	2		指導員の人数の問題で出来る日、出来ない日の差が激しい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	ミーティングをしている。	業務連絡ノートの活用がうまく出来ていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4		シフトにより帰り時間がばらつく為、次の日のミーティング時に伝える陽にはしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		毎日記録係を決め、活動の内容を記入。「気になる行動シート」の活用も行いたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1	半年に一回行っている。	半年に一回行われている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	3			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	管理者が参加	管理者だけでなく、指導員も複数参加したほうがいいのではないかな？	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 平令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁JOYtime

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		現在は児発がないがいたときはそのようにしていた。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	1		現在は児発がないがいたときはそのようにしていた。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		その児童さんのモニタリング時に支援員さんと話し合いをしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	4		コロナが明けたら行いたい。また、公園遊びの際には近くにいる方々に施設名を名乗り、一緒に遊ぶ挨拶をしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		今後も継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	5		全員の保護者様に均一にできてはいない。隔てなく出来るように改善する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	重要事項説明書にて	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1		全員の保護者様に均一にできてはいない。隔てなく出来るように改善する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	6		コロナが明けたら行いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		写真をたくさん載せて児童さんも振り返りが出来るように工夫している。
	35	個人情報に十分注意している	10	0		鍵付きロッカーにて個人情報を管理。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1		手話研修や心理士の先生にお越しくださっていただき、アドバイスを頂いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	6		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0		

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁JOYtime

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		年に二回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2		月に一回虐待チェックシートを行い、自身の支援を振り返っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	3		該当なし。該当するケースがあったらそのように対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0		エビペンの製造元から研修セットを貸していただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1		ノートにまとめ、見やすくなっただがロールプレイングなどで検証する様にする。